

(編入学)

令和6年度 入学試験問題

小論文

(農学生命科学部 国際園芸農学科)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙1枚と下書き用紙1枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の1つのます目に1文字ずつ入れること。数字・記号・アルファベットの場合も同様とする。
6. 解答用紙の指定された欄に、受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

次の図（図1～3）を読み、後の問い（問1～2）に答えなさい。

図1は、帝国データバンクが2023年3月31日までにまとめた、国内の主要な食品や飲料メーカー195社が、2022年1月～2023年3月までに値上げ済みおよび4月以降に値上げする予定の品目数の推移を示したものである。

図2は、図1に示した2023年1～3月までに値上げ済みおよび4月以降に値上げが予定される食品の累計約1.85万品目の値上げ原因別の割合（品目数ベース）を示したものである。

図3は、図1に示した2023年4月以降に値上げする予定の食品約9,000品目の値上げデータと、総務省の「家計調査」における二人以上世帯の2021年度消費支出データをもとに、生鮮食品を除く食品値上げによる2023年4月以降の家計負担額の推計値を示したものである。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

図1 2022-2023年の食品値上げ品目数の推移
（品目数/月）

図2 2023年の食品値上げ品目の値上げ原因別の割合（品目数ベース）

著作権の関係上、省略します。

図3 2023年4月以降の食品値上げによる家計負担額推計

(出典：図1と図3は帝国データバンク「特別企画：「食品主要195社」価格改定動向調査—23年度家計負担額推計」の資料を一部改編；図2は帝国データバンク「特別企画：「食品主要195社」価格改定動向調査—2023年4月」の資料を一部改編)

問1. 図1～2をもとに、2022-2023年の食品値上げの推移およびその要因と背景について説明しなさい(400字以内)。

問2. 図1～3をもとに、食品値上げによる2023年4月以降の家計支出額への影響について説明しなさい。さらに、物価高の進行に伴う今後の対策についてあなたの考えを述べなさい(400字以内)。